



「辨財天青年団・自警団」



中川さん…2年間、コロナによってだんじりの曳き回しができませんでした。祭りの時には、遠方

祭りにかける想い

篠原さん…家族が祭り好きで幼い頃から当たり前のように祭りに参加していました。鐘や太鼓を打つボランティアに参加し、その流れで自然と青年団に入りました。

きっかけは？

秋 晴れの気持ちいい10月24日、大字弁財天の修繕されただんじりの入魂式が行われ、2年続けて中止となった戸閉祭への想いについて青年団長の篠原悠人さんと自警団長の中川和俊さんにお話を伺いました。

から地元に戻ってくれる人もいて、祭りがつながりを確認してくれます。代々引き継がれている祭りを若い人たちに継いでもらいたいですね。篠原さん…団長になったのは、使命があるわけではないです。でも、誰かがやらなければ廃れま

す。弁財天は、櫛玉比女神社の「宮元」なので守っていききたいですね。



↑「宮元」の字が図案化されています。



↑祭りは私たちが守り継いでいきます！

来年こそは多くの人が集まる祭りができたらええなあ……。

今は、開催に向けて準備をしていきましょう！



もっと自治基本条例を知りたい方は、町ホームページをご覧ください。

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

自治さんと学ぶ、自治基本条例講座

～ 伝統を守り継いでいく ～

Vol. 9

懐かし〜

自治

イヤイヤ君 分からないことはついイヤイヤしてしまう

自治さん 自治基本条例に詳しい妖精

昔に撮った写真やです

何を覚えてるんですか？

ん？

コロナ禍で大勢集まる祭りがなくなりましたからね…

自治

イヤイヤ

祭りがないと、季節感とかワクワク感がないわあ〜

自治基本条例では、文化財や伝統行事は、町民や町が保護、活動・活用を行うことで、多くの人に知ってもらい、次世代へ継承する必要があることを定めています(第19条2)。

ですが、先日に左ページのような行事がありました！